



## 森の潜水艇 ホップこども園 森棟

### 設計主旨

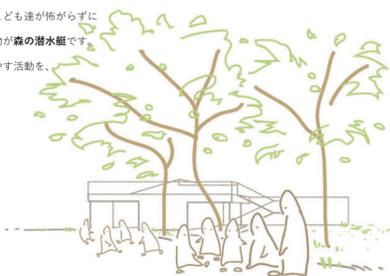
こども達を森へ連れ、森の海を自由に潜ったり浮かんだりして、心身を豊かにする「あそびとまなび」の計画です。

その建物は森棟と呼ばれていて、園とは離れた敷地で別棟として運営されます。教室からの距離と移動時間を考えた場合、休憩や水、トイレといった最低限の機能は、建物無しでは解決できません。

夏は大人でも入ることが出来なかった深い森は、こども達が奥まで入り込むための整備がされることになり、建物に求められる要求はさらに深まりました。

こどもの活動が森の奥まで広がり、小グループの活動へ促すには、森の奥へ自由に行ける環境が必要です。しかし自然にふれる環境で無くなってしまう意味がありません。

木々と昆虫や色々な生物を極力残しても、こども達が怖がらずに積極的にアクセスする気持ちを引き出す建物が森の潜水艇です。この計画は、こども達が新しい経験値を増やす活動を、建築が手伝う共同作業となりました。



### 敷地

この敷地は本体であるホップこども園の園庭から道路を挟んだはず向かいに位置しています。

前面道路は刈谷田川の土手をかためた短いループ状になっていて、こども園への送迎をする保護者が車で通る以外では、ごく限られた住民だけが使う交通量の少ない道路になっています。

広い敷地の両端に民家が有るものの、裏に有る広大な畑も人の手が入らなくなって長く、道路が囲った円の中は、人が入ることが出来ないエリアが大きくなっていました。

長年の放置で荒れたエリアの中の敷地へ「建築」することにより、私たちは「あそびとまなび」への作用はどうあるべきかを話し合いました。

一つは行くのが楽しみという象徴になる建物。見えてきただけでこれから過ごす時間や行為を考え、気持ちの高揚を生み出す景色を作ることです。

二つ目は誰もが自然を、そしてその中の生き物と一緒に過ごすことを受け入れ、楽しみ、その時間を好きになれることです。

その為には全てのこどもたちが楽しい気分のまま奥まで入って行けることが必要となり、こどもの成長を促すことを考慮した機能を、以下の3点にすることとなりました。



### コンセプト

こどもの成長をアシストする3つのテーマ：こども達は森海へ広がり、それぞれの驚きを持ち寄り集まり、少人数で繰り返します。

#### 帰還 Return to Nature

非日常を演出する木々の海に停泊する森の潜水艇  
「人間は自然の一部」とエーヒ・フロムは言いました。

今回のプロジェクトは「こどもを自然に還そう」という原点から始まっています。

教室を出ることは非日常。

教室から見えていた巨大な森に近づく、見たこともない景色が出現します。

植える光景に行む建物は、この景色と一体化することを目指しました。

最初に見る建物は囲われたところが見えません。ルーフテラス、階段、デッキと、自然に対して触手を伸ばすような機能で包むことで、囲って対峙することのない自然な景色となりました。



大木の下に佇む、停泊中の森の潜水艇。森海へ繋げるファンクションを、ハーフテラス・階段・デッキへ持たせました。



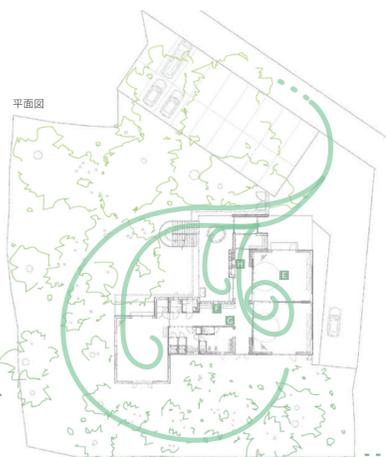
#### 発見 Move & Discover

あそびとまなびの渦  
渦巻く広がる流れのように伸びて広がる興味のかたまり

建物の形状は、既存大木の配置を避けるように近づくと計画され、中の動線は森の奥、森海へ渦を巻く様な動線で移動していきます。

外の動線も、船体に沿って流れる様なラインで最深の追い止まりまでの移動距離を伸ばしながら渦を巻いています。

冒険無くして発見無し。発見が一番奥にあるではありません。移動していく中で興味のあるものを見つけてアクセスし、渦の巻く数だけ小グループが発生してきてくれます。



#### 共有 Shared Space = Access Point

天候に合わせた3つのシェア広場  
外海と室内をつなぐ深さのグラデーション  
シェアは友情と感動の源

甲板  
内からそのまま思いっきり外  
靴を脱ぎなくても大木の枝に近づく大パノラマ

砂浜  
内からそのまま半分外  
靴を脱ぎなくても外で遊べる全天候型ルーフテラス

船窓  
内と外が直接リンク  
全方位のぞける森海のある共有空間

内と外をつなげる3つのシェア広場が、共有時間を包み込みます。



潜水艇の船橋を彷彿させるハイスайдライト。保育室は司令塔にぐるぐる回る空間、本好きのあつまる空間、あそびで広がる友達との発見。丸と四角のランダムな船船窓。



砂浜のルーフテラス：森海への渦と保育室からの渦をミックスする共有空間。甲板からは大木の高さで、ターザン遊具、通園ルート、砂浜(ルーフテラス)へとアクセス。

